



JAL不当解雇撤回ニュース

No533 号 2017.06.14
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

全国各地でJALに要請!

5月 北海道編



日本航空は、日航乗組とCCUの統一要求に対し「難しい」と頑なな対応を続けています。国民共闘はJALに解決の決断を迫る全国統一行動として、5月15～27日を集中期間として、日航乗り入れ空港での宣伝と支店要請の実施を呼びかけ、全国各地で空港街頭での宣伝と要請行動、集会などが取り組みました。原告も16地域に飛び、各地の支援者とともに行動しました。本号では北海道での行動を紹介します。

女満別・北見

13日～15日

元国労北見闘争団の熊谷地区労の成田事務局長の呼びかけで、各地から多くの方が参加されました。空港で2回の宣伝行動の他、網走道の「道の駅前」と北見駅横の広場でも宣伝行動を行いました。女満別空港支店への要請では、JALの責任者が不在で、業務を委託されている日本通運の課長が対応しました。最終日には12団体を回り争議への支援要の訴えました。行動中日の14日、全国で30番目となる支援団体「オホーツクの会」が結成されました。



北見駅横の広場にて



女満別空港にて

「北海道の会」

札幌

15日・16日

札幌駅前宣伝行動をはさみ、札幌空港支店と北海道支店に要請を行いました。夕方から集会が行われましたが、参加した役員から「昨日北見駅前で何か宣伝していたので良く見たらJALでした。拡がってびっくりしました」と報告がありました。

また、参加された元衆議院議員の児玉健次氏から、「JALの解雇は労働者の尊厳を傷つけるもの。JALの闘いは現在の日本の労働者の灯台の役割をしている。不当労働行為で解雇した事はJALの弱点だ」と励ましの言葉を頂きました。

翌日は支援を訴えて7団体を回りました。

「釧路・根室の会」

帯広

18日

平和フォーラム関係労組と初めて実現した。
集会で、支援の訴えをする清田乗員事務局長
と鈴木客乗副団長

帯広空港支店への要請行動では、JALの社員はいないため、委託会社の日本通運の社員が対応し、要請は上に伝えるとの返事を頂きました。

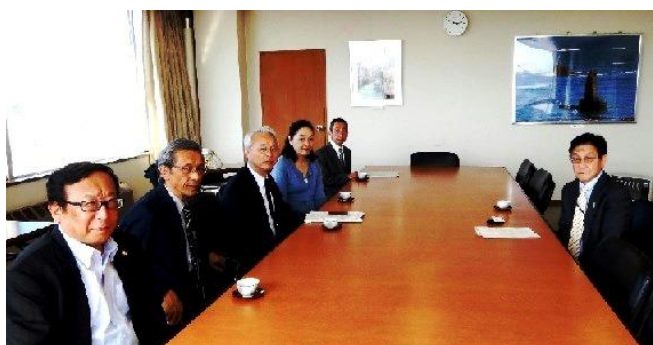
2ヵ所の宣伝行動を挟んで、21団体に支援の要請に行きました。

初めて平和フォーラム関係労組と一緒に取り組むことができた集会には、55名が参加し成功裏に終わりました。



根室

19日



昨年末、「釧路・根室の会」の立ち上げに尽力された山本さんと横田さんが、帯広から根室まで5時間車を走らせて下さいました。

根室市役所での要請では、水産経済部長と面談できました。部長は「JRは国の主導で赤字を招いたのだから国が責任を取るべき。JALも同じ。不当な解雇はあってはならない。どう解決するかきちんと話し合うべきだ」と述べられました。

10団体に支援要請を実施した後、ショッピングセンター前で宣伝行動を行いました。夜の集会には30名が参加しました。

釧路

20日・21日

釧路空港支店への要請行動では、JALの責任者は休みで、日本通運の佐藤支店長が対応し、「文書は必ず届ける」と約束されました。

また、5月初旬に釧路に市内支店が開設されたことが分かり、後日「釧路・根室の会」の山本さんが要請に伺い、佐々木副支店長が対応された事が報告されました。

釧路では4団体への支援要請と2ヵ所での宣伝行動が行われました。集会には85名が参加しました。釧路の集会にて、物品販売は完売となりました。

全ての集会では、4日間同行した全労協の金澤議長から情勢含め報告があり、原告二人が支援の訴えをしました。

